

第9課

同訓の漢字

復習

次の文を読んで、 の部分を書き表すのに適当な漢字を、a.とb.のうちから選
びなさい。似ている訓の漢字を使っていますが、正しいものはどちらかひとつです。
できる人は、右の漢字を見ないで、書いてみてください。

1. 今週は毎日いそがしい。 (a. 忙 b. 急)
2. パーティーには、おおくの人々が集まった。 (a. 大 b. 多)
3. 事故で授業におくれてしまった。 (a. 送 b. 遅)
4. 今日は寒いから雪が降るとおもう。 (a. 思 b. 重)
5. テストの結果はわるかった。 (a. 悪 b. 割)
6. 疲れたので、少しやすもう。 (a. 安 b. 休)
7. この町の南を川がなががれている。 (a. 長 b. 流)
8. 試合は午前10時にははじめまった。 (a. 始 b. 初)
9. きのう遅くまで勉強したので、今日はねむい。 (a. 眠 b. 寝)
10. この家は電車がとおると、ゆれる。 (a. 通 b. 遠)
11. コンピュータの使いかたがわからない。 (a. 方 b. 形)
12. 30分まったが、田中さんは来なかった。 (a. 待 b. 持)
13. 旅行の行き先がきまらない。 (a. 来 b. 決)
14. 本がたくさんならんでいる。 (a. 並 b. 習)
15. 今日の会議は第一会議室でひらかれる。 (a. 広 b. 開)
16. 夜が明けて外があかるくなってきた。 (a. 赤 b. 明)
17. 彼女は今まで一人でいきてきた。 (a. 生 b. 行)
18. 友人をよんでパーティーを開いた。 (a. 呼 b. 読)
19. 図書館で本をかりた。 (a. 貸 b. 借)
20. 新しい作品をこころみたが、うまくいかなかった。 (a. 心 b. 試)

< 答 え >

1.	a.	忙 (いそが) しい	busy	急 (いそ) ぐ	to hurry
2.	b.	多 (おお) い	many, much	大 (おお) きい	big
3.	b.	遅 (おく) れる	to be late	送 (おく) る	to send
4.	a.	思 (おも) う	to think	重 (おも) い	heavy
5.	a.	悪 (わる) い	bad	割 (わる)	to break
6.	b.	休 (やす) む	to rest	安 (やす) い	cheap
7.	b.	流 (なが) れる	to flow	長 (なが) い	long
8.	a.	始 (はじ) まる	to begin	初 (はじ) めて	first
9.	a.	眠 (ねむ) い	sleepy	寝 (ね) る	to sleep
10.	a.	通 (とお) る	to pass	遠 (とお) い	far
11.	a.	方 (かた)	way	形 (かた/かたち)	shape
12.	a.	待 (ま) つ	to wait	持 (も) つ	to hold
13.	b.	決 (き) まる	to decide	来 (く) る	to come
14.	a.	並 (なら) ぶ	to line up	習 (なら) う	to learn
15.	b.	開 (ひら) く	to open	広 (ひろ) い	wide
16.	b.	明 (あか) るい	bright	赤 (あか) い	red
17.	a.	生 (い) きる	to live	行 (い) く	to go
18.	a.	呼 (よ) ぶ	to call	読 (よ) む	to read
19.	b.	借 (か) りる	to borrow	貸 (か) す	to lend
20.	b.	試 (こころ) みる	to try	心 (こころ)	heart, mind

基本練習

I. 次の文を読んで、a.とb.のうち適当なほうを選びなさい。同訓の漢字を使っていますが、適当なものはどちらかひとつです。

1. 駅で久しぶりに山田さんに (a. 合った b. 会った)。
2. 両親は北海道に (a. 住んで b. 済んで) いる。
3. この先で道が二つに (a. 分かれて b. 別れて) いる。
4. この温泉は腰痛によく (a. 効く b. 聞く) らしい。
5. パーティーをするので、(a. 飲み者 b. 飲み物) が必要だ。
6. この神社は、今から700年ほど前に (a. 立てられた b. 建てられた)。
7. このアパートの (a. 大家 b. 大夜) さんは、山本という女の人だ。
8. 図書館に本を (a. 返し b. 帰し) に行った。
9. この手紙は彼の気持ちをよく (a. 表して b. 現して) いる。
10. 寒いのでヒーターをつけて (a. 温かく b. 暖かく) した。
11. 宿題はもう (a. 住んだ b. 済んだ) ので、遊びに行こう。
12. 病気が (a. 直った b. 治った) ので、会社に行った。
13. 子どもが独立するのを待って、その夫婦は (a. 分かれた b. 別れた)。
14. 30分ほど遅れて、田中さんがパーティーに (a. 表れた b. 現れた)。
15. 飛行機で往復するのが一番安くて (a. 早い b. 速い)。

Ⅱ. 次の文を読んで、a.とb.のうち適当なほうを選びなさい。同訓の漢字を使っていますが、適当なものはどちらかひとつです。

1. 研究室でワープロを (a. 打って b. 撃って) いる。
2. きノウ、国の家族に絵はがきを (a. 送った b. 贈った)。
3. 公園の花を (a. 折って b. 織って) はいけない。
4. 彼の乗った飛行機はもう空港に (a. 付いた b. 着いた) だろう。
5. 犬がワンワン (a. 泣いて b. 鳴いて) いてうるさい。
6. 大きな事故が (a. 起こって b. 怒って)、死傷者が出た。
7. 彼女はパーティーでピアノを (a. 引いた b. 弾いた)。
8. 田中さんが手を (a. 降って b. 振って) いるのが見えた。
9. 彼は父親によく声こえが (a. 煮て b. 似て) いる。
10. 米の中に小さな石が (a. 交じって b. 混じって) いた。
11. きノウから (a. 葉 b. 菌) が痛いので病院へ行った。
12. 春になると、アレルギーで (a. 花 b. 鼻) がかゆくなる。
13. ピストルを (a. 打つ b. 撃つ) 音が聞こえたので、驚いた。
14. 母が台所で野菜やさいを (a. 煮て b. 似て) いる。
15. このネクタイは手で (a. 折った b. 織った) ものです。
16. あの人は酒を飲むとすぐ (a. 起こる b. 怒る)。
17. 秋になって、木々の (a. 葉 b. 菌) が落ち、さびしくなった。
18. 背中せなかに糸が (a. 付いて b. 着いて) いる。

19. 誕生日たんじょうびに友だちに (a. 送り物 b. 贈り物) をもらった。
20. 絵の具を (a. 交ぜて b. 混ぜて) いろいろな色を作った。
21. 自転車でころ転んだ子どもが (a. 泣いて b. 鳴いて) いる。
22. 近くの公園にきれいな (a. 花 b. 鼻) が咲さいている。
23. 寒いと思って、外を見たら、雪が (a. 降って b. 振って) いた。
24. 私の家の戸とは横に (a. 引いて b. 弾いて) 開ける。

Ⅲ. 次の下線のことばを漢字で書きなさい。

1. a. 意見がわかれる () = 違う意見をもつ
 b. 恋人とわかれる () = (人と) 別々になる
2. a. やわらかい毛布 () = ふわふわして、だんりよく弾力がある
 b. やわらかい話 () = かたくるしくない、気楽な
3. a. はじめて外国へ行く () = いままで行ったことがない
 b. はじめて、5分たつ () = 物事をやりはじめる
4. a. 毎朝やく起きる () = 時刻がはやい
 b. いつもよりやく走る () = スピードがはやい

① 同訓の漢字語

a. 同訓の漢字語の使い分け

あう	合う 会う	サイズが合う。くつが足に合う。気が合う。 人に会う。駅で友だちと会う。
いたむ	痛む 傷む	胃が痛む。心が痛む。古い傷が痛む。 家の屋根が傷む。食べ物が傷む。
うつ	打つ 撃つ	くぎを打つ。ワープロを打つ。電報を打つ。 ピストルを撃つ。ライフルで鳥を撃つ。
きく	効く 利く	薬が効く。この方法が効く。効き目。 気が利く。右手が利く。左利き。
おくる	送る 贈る	荷物を送る。写真を送る。宅配便 <small>たくはいびん</small> で送る。 プレゼントを贈る。花を贈る。指輪 <small>ゆびわ</small> を贈る。
つく	付く 着く	服にごみが付く。元金に利子が付く。 目的地に着く。列車が駅に着く。
なく	泣く 鳴く	人が泣く。悲しくて泣く。 動物が鳴く。鳥や虫 <small>むし</small> が鳴く。
ひく	引く 弾く	手を引く。ドアを引く。辞書を引く。 楽器（ピアノ／ギター／バイオリン）を弾く。
あたたかい	暖かい 温かい	風が暖かい。暖かい部屋。暖かい日。 料理が温かい。温かい家庭 <small>かてい</small> 。温かい笑顔 <small>えがお</small> 。
はやい	早い 速い	時間が早い。早く起きる。早く寝る。 スピードが速い。速く走る。速く食べる。
やわらかい	柔らかい 軟らかい	体が柔らかい。柔らかい生地 <small>きじ</small> 。柔らかい手。 応対が軟らかい。軟らかい話。
かた	形 型	ひし形の箱。たまご形の顔。自由形で泳ぐ。 新型カメラ。大型テレビ。髪型 <small>かみ</small> を変える。

b. 自動詞と他動詞が対になっているもの

あらわれる・あらわす

現れる・現す

人が現れる。場所に姿^{すがた}を現す。

表れる・表す

表情に表れる。気持ちを表す。

かえる・かえす

帰る・帰す

人が国に帰る。子どもを家に帰す。

返る・返す

貸した物が返る。図書館に本を返す。

たつ・たてる

立つ・立てる

人が立つ。立て札^{ふだ}を立てる。物を立てる。

建つ・建てる

建物が建つ。家を建てる。工場を建てる。

なおる・なおす

直る・直す

故障^{こしょう}が直る。こわれた機械を直す。間違いを直す。

治る・治す

病気が治る。けがを治す。

はなれる・はなす

離れる・離す

席を離れる。遠くへ離れる。手を離す。

放れる・放す

動物がくさりから放れる。犬を放す。

まざる／まじる・まぜる

交ざる／交じる・交ぜる

人が交ざる。漢字が交じる。

混ざる／混じる・混ぜる

砂^{すな}が混じる。酒を混ぜる。

c. 同訓の漢字語が3つ以上あるもの

あく・あける

開く・開ける

窓が開く。戸を開ける。

空く・空ける

席が空く。場所を空ける。

明ける

夜が明ける。年が明ける。

うつる・うつす

移る・移す

場所が移る。会場を移す。

写る・写す

写真が写る。文を写す。

映る・映す

鏡^{かがみ}に顔が映る。映画を映す。

つとめる

努める

解決に努める。実現するよう努める。

勤める

会社に勤める。大使館に勤める。

務める

会長を務める。主役を務める。

とまる・とめる

止まる・止める

人が止まる。車を止める。

泊まる・泊める

旅館に泊まる。友人を家に泊める。

留まる・留める

人の目に留まる。事を心に留める。

のぼる	上る	坂 <small>さか</small> を上る。利益 <small>りえき</small> が百万円に上る。
	昇る	日が昇る。社長の地位に昇る。
	登る	山に登る。木に登る。
あらわす	表す	気持ちを表す。
	現す	<small>すがた</small> 姿を現す。
	著す	書物を著す。
あつい	暑い	今日は暑い。暑い日。暑い地方。
	熱い	体が熱い。熱い飲み物。熱い風呂 <small>ふろ</small> 。
	厚い	人情が厚い。厚い本。厚いステーキ。
かたい	固い	口が固い。固い決心。固く約束する。
	硬い	表情が硬い。硬い金属 <small>きんぞく</small> 。
	堅い	堅い商売。堅い人。堅い話。
かわ	川	川が流れる。アマゾン川
	皮	果物の皮をむく。りんごの皮。毛皮 <small>けがわ</small> 。
	革	革のジャケットを着る。革のベルト。

d. 同訓の漢字語がたくさんあって、使い分けが難しいもの

～ガ おさまる・～ヲ おさめる

収まる・収める (落ち着く・結果を出す)	台風が収まる。成功を収める。
納まる・納める (ものが入る・入れる)	倉庫 <small>そうこ</small> に納まる。税金を納める。
治まる・治める (政治を行う)	国が治まる。地方を治める。
修まる・修める (学問などを身につける)	身 <small>み</small> が修まる。学業を修める。

～ガ かわる・～ヲ かえる

変わる・変える (状態や質)	形/色が変わる。方法を変える。
代わる・代える (役目や役割)	父に代わってする。命 <small>いのち</small> に代えてする。
換わる・換える (ものを交換)	新聞が金に換わる。駅で乗り換える。
替わる・替える (新しいものに)	社長が替わる。服を着替える。両替。

～ヲ はかる

図る (目標にする)	利益 <small>りえき</small> を図る。解決を図る。合理化を図る。
計る (数や時間を調べる)	時間を計る。数量を計る。
測る (長さや大きさを調べる)	距離 <small>きょり</small> を測る。面積 <small>めんせき</small> を測る。温度を測る。
量る (重さや量を調べる)	体重を量る。分量を量る。容積 <small>ようせき</small> を量る。

※ 「計」や「量」の代わりに「測」を使うこともできる。

もと

本 (重要なところ)	もと(本)を正す。
元 (出発点や以前のもの)	元は農民だった。元の住所に送る。
下 (影響 <small>えいきょう</small> を受ける範囲 <small>はんい</small>)	山田先生のご指導 <small>しどう</small> の下で研究した。
基 (基礎 <small>きそ</small> や根拠 <small>こんきょ</small> となるもの)	資料を基にして論文を書いた。

② 同訓の漢字語のアクセントや送りがな

a. アクセントが違うもの

あつい	暑い、熱い (あ <u>つ</u> い)	:	厚い (あ <u>つ</u> い)
かく	書く (か <u>く</u>)	:	欠く (か <u>く</u>)
ふる	降る (ふ <u>る</u>)	:	振る (ふ <u>る</u>)
は	葉 (は <u> </u>)	:	歯 (は <u> </u>)
はな	花 (は <u>な</u>)	:	鼻 (は <u>な</u>)

b. 送りがなが違うもの

おこる	起こる	/	怒る
かえる	変える、代える、換える、替える	/	帰る、返る
わかる	別れる	/	分かれる

③ 同訓の動詞で文法的用法が違う語

a. 辞書形が同じでも、動詞の種類が違うため、ほかの活用形が違うもの (アクセントも違う。)

かえる	帰る (か <u>える</u>)	帰らない	帰ります	帰って
	返る (か <u>える</u>)	返らない	返ります	返って
	変える (か <u>える</u>)	変えない	変えます	変えて
	代える (か <u>える</u>)	代えない	代えます	代えて
きる	切る (き <u>る</u>)	切らない	切ります	切って
	着る (き <u>る</u>)	着ない	着ます	着て
へる	減る (へ <u>る</u>)	減らない	減ります	減って
	経る (へ <u>る</u>)	経ない	経ます	経て

b. 辞書形が違う動詞で、テ形が同じもの (アクセントはふつう違う。)

うって	打つ	打って(う <u>って</u>)	きて	着る	着て(き <u>て</u>)
	売る	売って(う <u>って</u>)		来る	来て(き <u>て/き <u>て</u></u>)
おいて	老いる	老いて(お <u>いて</u>)	とんで	飛ぶ	飛んで(と <u>んで</u>)
	置く	置いて(お <u>いて</u>)		富む	富んで(と <u>んで</u>)
おって	追う	追って(お <u>って</u>)	よんで	読む	読んで(よ <u>んで</u>)
	折る	折って(お <u>って</u>)		呼ぶ	呼んで(よ <u>んで</u>)

※次のものはアクセントが同じ。

いって	言う	言って(い <u>って</u>)
	行く	行って(い <u>って</u>)

c. 使う助詞が違うもの

きく	聞く (～ヲ)	音楽を聞く。
	聞く (～ニ～ヲ)	人に名前を聞く。意味を聞く。
	効く (～ガ～ニ)	頭痛にはこの薬が効く。
すむ	住む (～ガ～ニ)	東京に住む。
	済む (～ガ)	テストが済む。
つとめる	努める (～ガ～ニ)	サービスに努める。
	勤める (～ガ～ニ)	工場に勤める。
	務める (～ヲ)	会長を務める。
にる	似る (～ガ～ニ/～ト)	顔が父に似る。
	煮る (～ヲ)	魚を煮る。
はなす	話す (～ヲ)	日本語を話す。
	離す (～ト～ヲ)	物と物を離す。
	放す (～ヲ)	小鳥を放す。
ふる	降る (～ガ)	雨が降る。
	振る (～ヲ)	手を振る。
わかれる	分かれる (～ガ～ニ)	道が左右に分かれる。
	別れる (～ガ～ト)	友人と別れる。

④同訓の漢字の組み合わせでできた漢語

あう+あう	→ 会合(かいごう) スル	会合を開く。
あらわす+あらわす	→ 表現(ひょうげん) スル	喜びを表現する。
うつ+うつ	→ 打撃(だげき)	打撃を受ける。
うつす+うつす	→ 映写(えいしゃ) スル	フィルムを映写する。
おさめる+おさめる	→ 収納(しゅうのう) スル	服を収納する。
かえる+かえる	→ 変換(へんかん) スル	かなを漢字に変換する。
たてる+たてる	→ 建立(こんりゅう) スル	寺院を建立する。
つく+つく	→ 付着(ふちゃく) スル	ごみが付着する。
つとめる+つとめる	→ 勤務(きんむ) スル	会社に勤務する。
のぼる+のぼる	→ 上昇(じょうしょう) スル	飛行機が上昇する。
はかる+はかる	→ 計量(けいりょう) スル	重さを計量する。
	計測(けいそく) スル	長さを計測する。
	測量(そくりょう) スル	土地を測量する。
わかる+わかる	→ 分別(ぶんべつ) スル	ごみを分別する。
あたたかい+あたたかい	→ 温暖(おんだん) ナ	温暖な土地に住む。
はやい+はやい	→ 早速(さっそく) Adv.	早速出かける。
かわ+かわ	→ 皮革(ひかく)	皮革製品を作る。
もと+もと	→ 基本(きほん)	基本が大切だ。

第9課の学習漢字

撃	贈	織	鳴	弾	振	似	煮	革	皮
p. 321	p. 272	p. 268	p. 248	p. 250	p. 253	p. 245	p. 315	p. 320	p. 285
葉	鼻	努	勤	務	登	納	換	替	混
p. 298	p. 331	p. 305	p. 278	p. 277	p. 301	p. 267	p. 254	p. 314	p. 255
測	基								
p. 255	p. 309								



I. 次の文を読んで、a.～c.のうち適当なものを選び、読みも書きましょう。

1. となりのご主人は銀行に (a. 努めて b. 勤めて c. 務めて) いる。
2. 池に空を飛ぶ鳥の姿が (a. 写って b. 映って c. 移って) いる。
3. 寒いので (a. 川 b. 皮 c. 革) のジャケットを着て出かけた。
4. 時間が (a. 開いた b. 空いた c. 明いた) ので、映画を見た。
5. 体が冷えたので、(a. 暑い b. 熱い c. 厚い) お茶が飲みたい。
6. 海の見えるホテルに (a. 止まった b. 泊まった c. 留まった)。
7. テーブルをとなりの部屋に (a. 写した b. 移した c. 映した)。
8. 家具とテレビを (a. 話して b. 離して c. 放して) 置いた。
9. 魚が川を (a. 上って b. 昇って c. 登って) きた。
10. 美しい女の人が目に (a. 止まった b. 泊まった c. 留まった)。
11. 会議では山田さんが議長を (a. 努めた b. 勤めた c. 務めた)。
12. 教室で8ミリ映画を (a. 写した b. 移した c. 映した)。
13. こんなに (a. 暑い b. 熱い c. 厚い) 本は今週中には読めない。
14. みかんは (a. 川 b. 皮 c. 革) がむきやすいので、好きだ。
15. 彼は、毎年夏、富士山に (a. 上る b. 昇る c. 登る)。

Ⅱ. 次の文を読んで、a.～d.のうち、適当なものを選びましょう。

1. 部長の (a. 変わり b. 代わり c. 替わり d. 換わり) に会議に出席した。
2. 荷物の重さを (a. 図ったら b. 計ったら c. 測ったら d. 量ったら) 30キロあった。
3. この国は若い国王が (a. 収めて b. 納めて c. 治めて d. 修めて) いる。
4. この電車の終点でバスに乗り (a. 変えて b. 代えて c. 替えて d. 換えて) ください。
5. 国民は法の (a. 本 b. 元 c. 下 d. 基) に平等である。
6. その男は自殺を (a. 図った b. 計った c. 測った d. 量った) が失敗した。
7. 今月の会費を早く (a. 収めて b. 納めて c. 治めて d. 修めて) ください。
8. この土地の面積を (a. 図ったら b. 計ったら c. 測ったら d. 量たら) 100平方メートルあった。
9. 1989年に年号が「昭和」から「平成」に (a. 変わった b. 代わった c. 替わった d. 換わった)。
10. 社長が (a. 本 b. 元 c. 下 d. 基) 秘書と結婚した。
11. この時計はいつも遅れるので、時間を正確に (a. 図る b. 計る c. 測る d. 量る) ことができない。
12. 朝になって、風が (a. 収まった b. 納まった c. 治まった d. 修まった)。

Ⅲ. 次の文の ____ の語を漢字に直しなさい。

例. かげによくきく薬があるときいた。
効く 聞いた

1. 図書館に本をかえして、家にかえってきた。
2. この機械がなおらないと、歯がなおせない。
3. 今晚とまるホテルの前にかんこう観光バスがとまった。
4. 部長のかわりに銀行へドルを円にかえに行った。
5. あつい日には涼しい部屋であついコーヒーが飲みたい。
6. 家をはなれて東京へ出てきたころのことをはなした。
7. 経産省につとめていた友人は、今、食品会社の会長をつとめている。
8. 映画をうつす場所が、ほかのところへうつった。
9. この木にのぼると、たいよう太陽がのぼるようすがよく見える。
10. 年があけたら、あいていた土地にビルがたった。

I. 日本人の名前に使われる漢字は、数も多く、読み方も複雑です。読み方が同じなのに、漢字が違うということがよくあります。そのような例を集めてみましょう。

読み方	漢字	意味
あきこ	秋子	秋に生まれた(女の)子
	明子	明るい(女の)子
まさこ	雅子	優雅な(女の)子
	正子	正しい/正直な(女の)子
みちこ	美智子	
	道子	

※上の例は女性の名前ですが、男性の名前も集めてみましょう。

Ⅱ. ^{みょうじ}名字（家族の名前）にもいろいろな漢字が使われます。電話などで相手の名字を聞いても、漢字がわからないと、手紙を書いたりするとき困ります。日本人に名前を聞き、「どんな漢字を書くんですか。」とたずねて、漢字をどのように口で説明するか、例を集めてみましょう。よく聞く説明のしかたは、漢字の訓読みやよく使われる^{じゆくご}熟語、意味などを言うことです。

読み方	漢字	説明のしかた
かのう	加 納	^{くわ} 「加える」に ^{おさ} 「納める」と書く。
もちづき	望 月	^{のぞ} 「望む」に ^{つき} 「月」と書く。
せきの	関 野	^{かんけい} 「関係」の ^{かん} 「関」に ^{の はら} 「野原」の ^の 「野」と書く
あきもと	秋 元	^{はるなつあきふゆ} 「春夏秋冬」の ^{あき} 「秋」に ^{げんき} 「元気」の ^{げん} 「元」

※名前以外にも、あることばをどんな漢字で書くかわからないとき、同じように聞いてみましょう。